



創立六十周年連続市民講座

第七回

埼玉の新しいまちづくりを考える

「場」「場所」「結い」をキーワードに

講座概要

人口減、高齢化社会の到来は決してマイナスではありません。むしろ真のまちづくりの可能性を切り開くチャンスだと考えられます。なぜなら、それは最小限の資源・エネルギーと最大限の関係資源を活用する、まちづくりを要請するからです。埼玉を例にしてその可能性を探ってみたいと思います。

講師プロフィール



経済学部教授
岩見 良太郎

【生まれ】 1945 年 兵庫県生まれ
【略歴】 1969.5 東京大学工学部卒
1978.3 東京大学大学院工学系研究科
博士課程修了 工学博士
青森大学、都留文科大学を経て
1994.4～現在
埼玉大学経済学部教授

【専門】 都市計画

【主な業績】 『土地区画整理の研究』自治体研究社、1978
『土地資本論』自治体研究社、1989
『「場所」と「場」のまちづくりを歩く』麗澤大学出版会、2004

第7回

埼玉の新しいまちづくりを考える

ー〈場〉〈場所〉〈結い〉をキーワードにー

配付資料

講師：岩見 良太郎

平成21年9月26日

教養教育1号館301教室

埼玉大学創立60周年記念連続市民講座

埼玉学のすすめー埼玉の過去・現在・未来を知るー

埼玉の新しいまちづくりを考える

—〈場〉〈場所〉〈結い〉をキーワードに—

2009年9月26日

埼玉大学 経済学部

岩見良太郎

はじめに

I. 「縮み社会」が開く、まちづくり新時代

1. 埼玉県にも「縮み社会」の到来

(1) 人口減少・高齢化社会に入る埼玉県

30年後、埼玉県人口は1割減、高齢者比率は13%増の34%／しかも、著しい地域格差：人口増減率（－40% ～＋19%）、高齢者比率（26%～51%）

(2) 「縮み社会」の都市のかたち

縮む市街地／課題としての「再定住」／望めない経済成長／公共投資も大幅減／「縮み社会」都市のデザインは

2. 求められる、まちづくり発想の根本転換

(1) 右肩上がり時代の都市計画手法は通じない

開発利益還元型手法（区画整理・再開発、規制緩和）の限界／「コンパクトシティ」も行きづまり／逆開発波及効果／資源・エネルギー・所得制約

(2) 新しいまちづくりの可能性

「幸せ」は所得に比例しない／モノ、カネ、エネルギー依存の都市計画から、人、情報（文化）、自然を生かしたまちづくりへ／豊かになる空間、自然、時間／減少する埼玉都民／新しいまちづくりの時代が始まる

Ⅱ. まちづくりとは何か

1. 豊かなくらしづくり・地域づくり

(1) 豊かさとは何か

「関係性」「相互作用」(人間・空間・自然との)の豊かさ／豊かな関係性・相互作用から生み出される豊かな意味(情緒的、知的、美的・・・)／意味の豊かさは無限／意味の豊かさこそが、豊かさの新時代を創り出す

(2) 日常生活の延長としてのまちづくり

日常生活における多様な活動が豊かな意味を創造する／「都市の本質はアクティビティ」(J.ジェイコブス)

2. 「小さなまちづくり」と「大きなまちづくり」

(1) 「小さなまちづくり」

多様な活動＝豊かな意味創造のための、日常生活における、ささやかな気遣い、協働

(2) 「大きなまちづくり」

暮らし・活動の基盤づくり(施設や制度・組織等の改善・整備)／「小さなまちづくり」の延長としての「大きなまちづくり」／「小さなまちづくり」→「大きなまちづくり」→「小さなまちづくり」・・・の「永続するまちづくり」

(3) コミュニティづくり

豊かな活動、「永続するまちづくり」の最大の保障はコミュニティの持続／コミュニティづくりこそまちづくりの要／例えば、イギリス都市再生の目的はコミュニティ・ビルディング

Ⅲ. 新しいまちづくり

1. 新しいまちづくりのキーワード——「場」「場所」「結い」

新しい酒は新しい革袋に／従来の都市計画の言葉(機能主義言語)から、くらしの言葉(自然言語)へ

(1) 活動空間としての「場」

学びの場、憩いの場、話し合いの場・・・／物的空間と社会空間の二層構成／相互行為(人－人)、相互作用(人－空間)が行われ、意味や価値、智恵が創造される／「場所」と「結い」の創造基盤

(2) 意味づけられた空間としての「場所」

施設≠場所／施設が使われ、意味が付与されてはじめて「場所」になる／場所は個人に固有／意味の蓄積による、多様な意味の彩りが「場所性」を高める

(3) 意味づけられたネットワークとしての「結い」

ネットワーク≠結い／活動で、ネットワークが活用され、そこに意味や価値が付与されてはじめて「結い」となる／ソーシャルキャピタル（社会関係資本）

(4) 「場」「場所」「結い」の相互関係

「場」における活動を通じて、「場所」「結い」が生み出される／「場所」「結い」は相互補完、相互促進の関係

2. 「場所」と「結い」のまちづくりとは

(1) 豊かな「場所」「結い」の創造による豊かなくらしづくり

個々人が多様で豊かな「場所」「結い」を享受しうる都市こそ、すぐれた都市／そのための場＝活動空間（物的空間、ネットワーク、活動）づくり

(2) サステファイアブル（満足）＝サステナブル（持続）のまちづくり

意味の豊かさに満足（心的、知的、美的・・・）を求めるまちづくり／意味はモノそのものではない→有限な資源で、無限の意味創造が可能／最小限の物的資源・エネルギー消費で最大限の意味創造・満足→究極のサステナブル（持続）のまちづくり

3. 「場所」と「結い」のまちづくり手法

(1) 既存の「場所」と「結い」からの出発

地域には個々人のくらし、したがって「場所」と「結い」がある／個々人の「場所」と「結い」を尊重しあい、より豊かにすることがまちづくりの目的

(2) 必須の方法としての日常的対話・相互行為

個々人の現在の、そして希求する「場所」「結い」の相互確認、共有化 → 新たな「場所」と「結い」の統一的イメージの創造

(3) 一人一人の「場所」を大切に空間づくり

個々人の居場所づくりへの細やかな配慮／固有名詞で考えるまちづくり
例． 蕨のある公園づくり

（４）要としてのネットワークづくり

ネットワークづくりは多様な「場」創造の基盤

例．足立区北千住の「一葉百円募金」／京都西新道商店街のネットワークづくり
／京都春日町内会の防災・福祉のまちづくり

（５）ネットワークづくりが埋め込まれた空間づくり

自ずとネットワークづくりを促すような空間づくり

例．足立区防災果樹園・墨田路地尊／個人庭の幅 50 cm開放でフラワーベルトづくり（埼玉県のある民間分譲住宅地に仕組まれた３つの組織）

（６）地域の既存資源（自然・文化・組織）を活用したまちづくり

・既存資源に新たな意味・価値を吹き込む——プリコラージュ

例．廃校の小学校職員室が、デイケアセンターに／コミュニティセンターが老人憩いの喫茶室に

・既存資源をつなぐ

例．大阪平野のまちぐるみ博物館

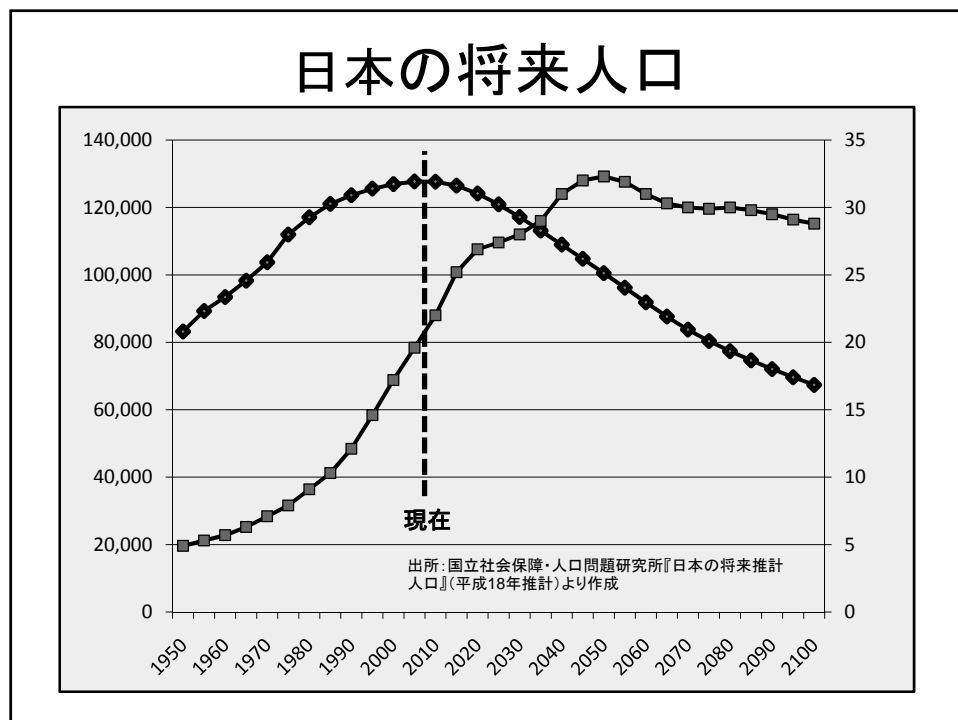
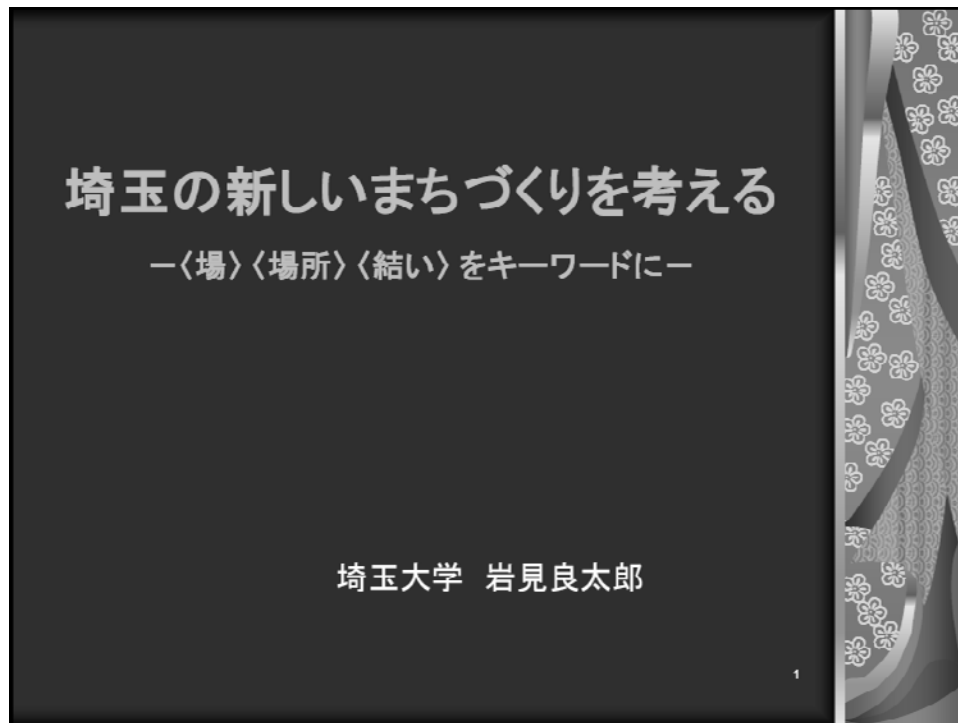
・コミュニティ&自然の力を活用したまちづくり

例．信玄の治水術

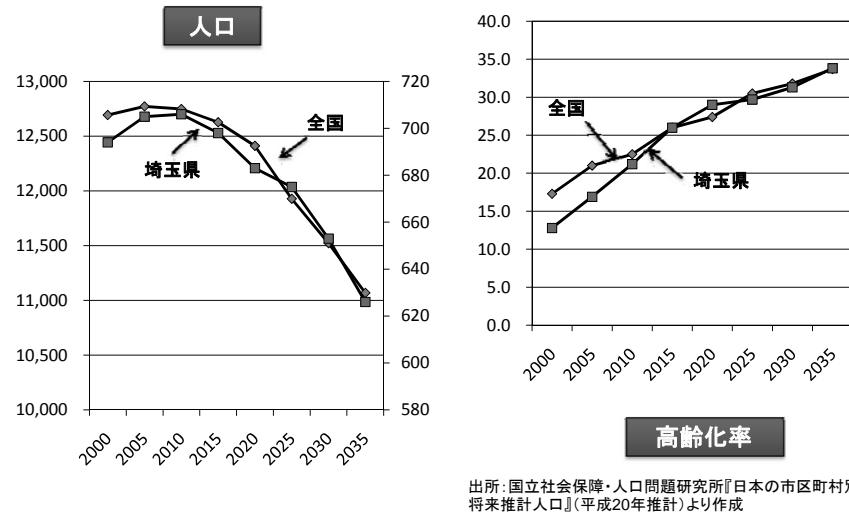
結びに代えて——アテネ新市民の宣誓

【本テーマに関わる主要参考文献（拙稿）】

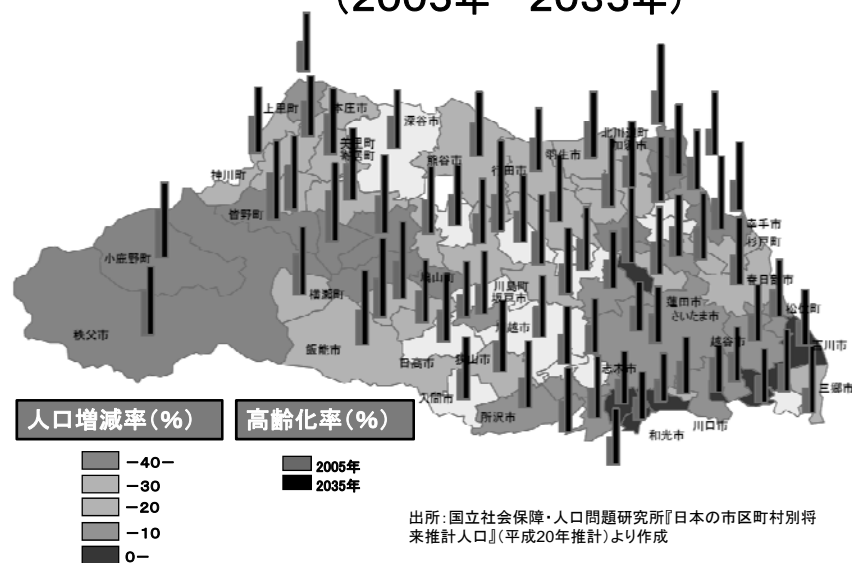
- ◆「震災復興と土地区画整理」『大震災 復興への警鐘』（岩波書店、1995）
- ◆「居住空間の再生と都市計画——場所と場の視点から」『講座 現代居住 第3巻』、東京大学出版会、1996
- ◆「場所と場の都市計画」『日本の都市法Ⅱ 諸相と動態』東京大学出版会、2001
- ◆「『都市計画マスタープラン』のテキスト分析」『社会科学研究』52巻6号、東京大学社会科学研究所、2001
- ◆「『場所』と「場」のまちづくりを歩く」麗澤大学出版会、2004年
- ◆「イギリスにおける都市再生とパートナーシップ」『アメリカ・イギリスの現代都市計画と住宅問題』東京大学社会科学研究所シリーズ No. 18、2005
- ◆「「場所」と「場」の都市計画——環境と社会の一体的設計をめざして」『社会環境設計論への招待』八千代出版、2005年
- ◆「地方都市まちづくりは蘇生するか（特集 地方自治・暗黒のシナリオ）」『地方自治職員研修』、通号 582、2008



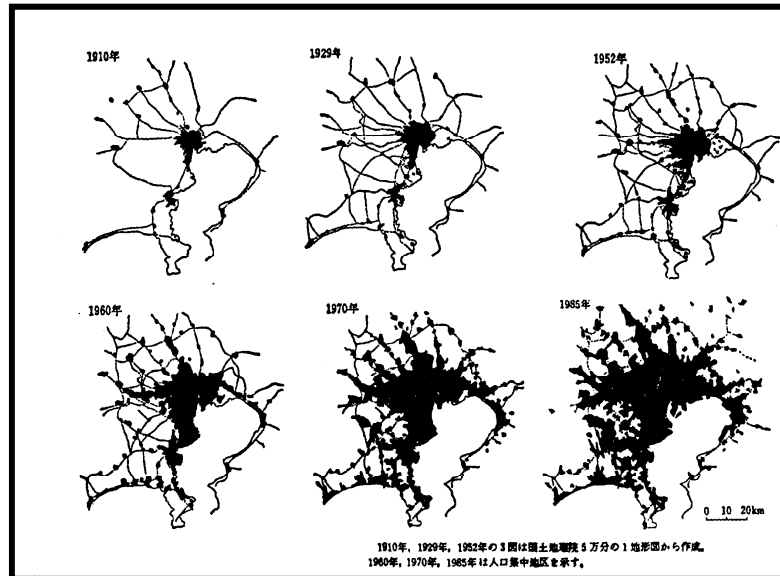
埼玉県将来人口、高齢化率予測



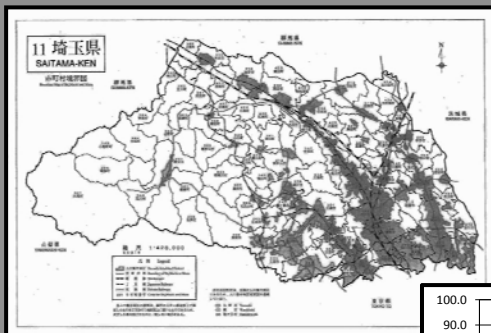
地域別人口増減率・高齢化率の変化 (2005年－2035年)



人口集中地区(DID)の推移

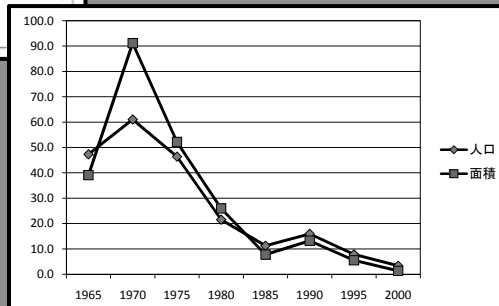


埼玉の市街化速度も急速な衰え



埼玉県DID(平成17年)

埼玉県DID人口・面積の
増加率推移



地域環境に貢献した 上尾オクタビアヒルズ再開発



行きづまるコンパクトシティ開発

青森都市計画マスタープラン

コンパクト・シティの形成 中心市街地の活性化と郊外開発の抑制

- 市街地の拡大に伴う新たな行政需要を抑制
- 既存のストックを有効活用した効率的で効果的な都市整備
- 市街地の周辺に広がる自然・農業環境との調和



2009年(平成21年)8月24日(月曜日) 日経MJ

青森中心街の開発縮小

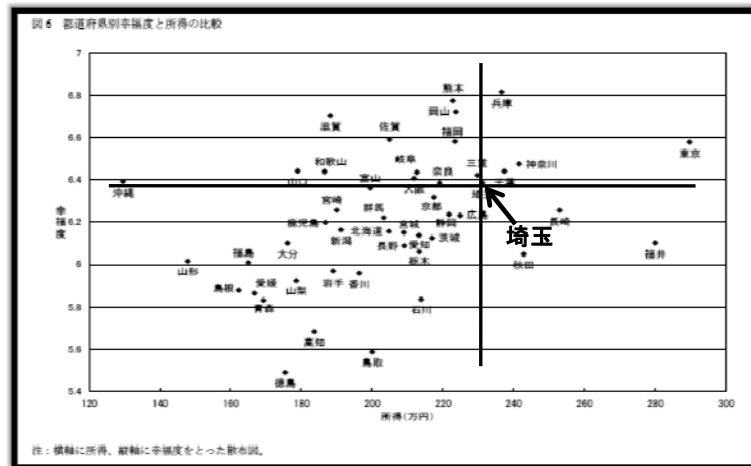
計画変更 機能集中の構想揺れる

【青森】青森市は、中心市街地の開発を抑制し、郊外開発を促進する計画を変更した。中心市街地の開発を抑制し、郊外開発を促進する計画を変更した。中心市街地の開発を抑制し、郊外開発を促進する計画を変更した。

新市長「財政負担重く」

青森市は、中心市街地の開発を抑制し、郊外開発を促進する計画を変更した。中心市街地の開発を抑制し、郊外開発を促進する計画を変更した。中心市街地の開発を抑制し、郊外開発を促進する計画を変更した。

「幸せ」は所得に比例しない



出所：筒井 義郎他「幸福感ではかった地域間格差」

GCOE DISCUSSION PAPER SERIES



イギリスの都市再生事業



コミュニティを強化するため、高層住宅が壊され、低層住宅に建て替えられる

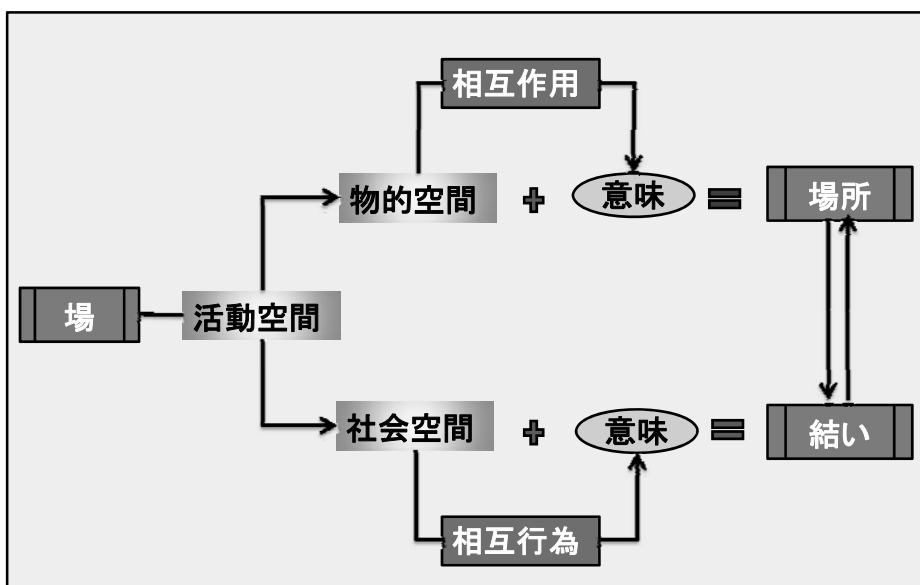
様々なコミュニティビルディングの試み



Creating a safer community

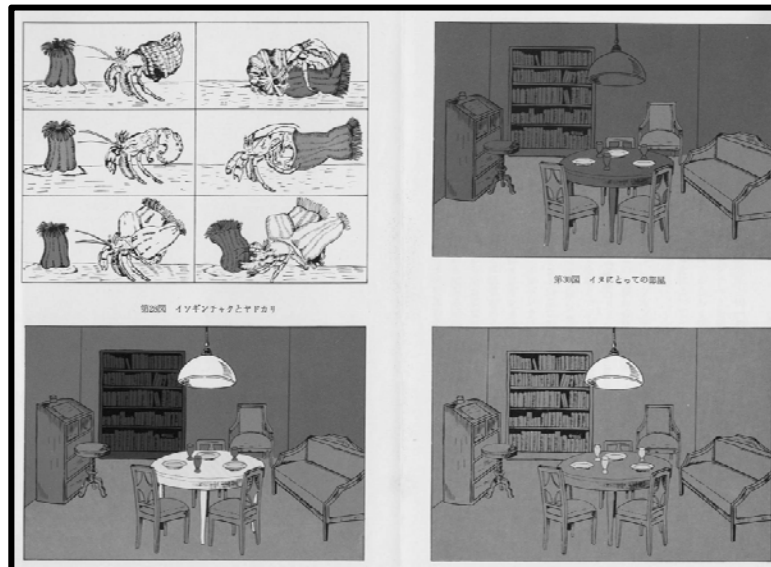


「場」「場所」「結い」の構造



場所は生物によって異なる

——ユクスキュル：生物から見た世界



蕨市のある公園づくり

——固有名詞で考えるまちづくり



一葉百円募金でネットワークづくり



北千住のある小さな
商店街

木陰づくりのため、募金で榎木を植える



京都西新道商店街のネットワークづくり



ハード投資ゼロの商店街づくり

西新道錦会商店街（京都府京都市）

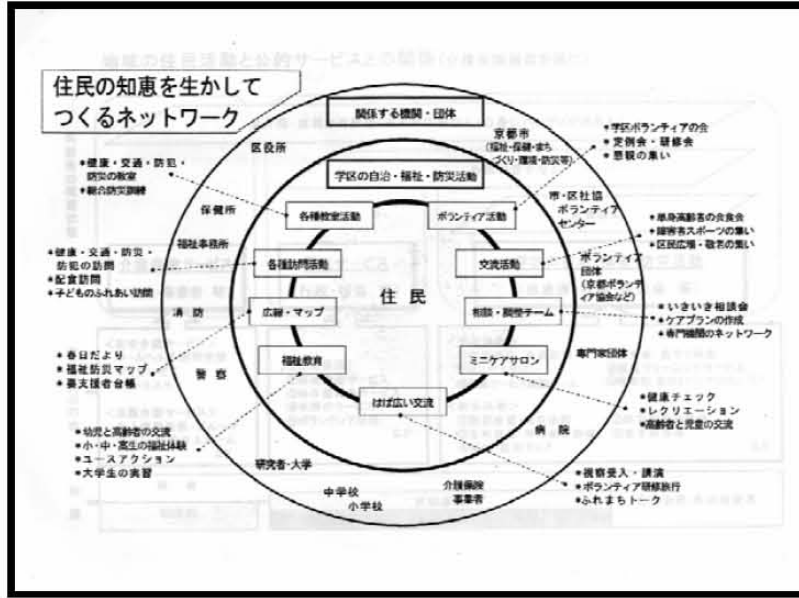
高齢者向けの昼食サービスを実施



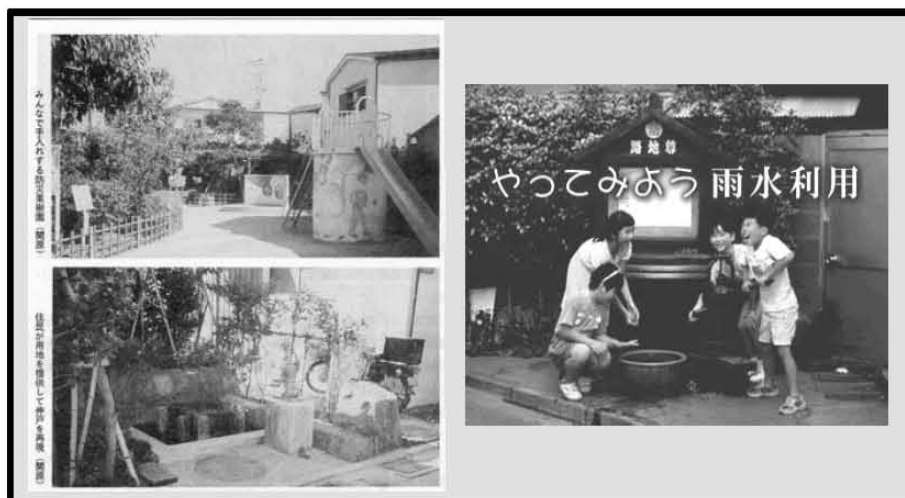
京都市にある西新道錦会商店街は、プリペイドカード事業、ファクシミリによる情報提供・宅配サービス、「消費者訪問」によるマーケティング調査など、先進的な取り組みを展開している。

同商店街で1999年11月から行っている事業が「ふれあいサロン『エプロン』」だ。同事業は、毎週金曜日に空き店舗を利用して昼食会を開催するもので、利用者は2日前までに予約をいれ、当日一食600円の食事をとることができる。毎回、周辺地域のお年寄りらが30人から40人利用しており、高齢者間のコミュニケーションを支援する役割を担っている。同商店街振興組合の原田完事務局長は、「歩くことが大変な高齢者にとって、昼食を通じて友人と話せる機会は生きがい、喜びにつながっている」と話す。

春日のネットワークづくり



足立区防災果樹園・墨田区路地尊



個人庭、幅50cm開放でフラワーベルトづくり
—埼玉県のある分譲住宅地に埋め込まれた3つの組織



既存資源に新しい価値を吹き込む



小学校廃校をデイケア
センターに

公民館が喫茶室に



平成13年8月28日喫茶「さくら」開店

平野まちぐるみ博物館

おもろいで平野

大沢町平野(旧平野町)地区

ひとりひとりの、小さくて、持続的な、まちづくり

このページは平野のまちづくりを促進する資料として活用されているものです。平野のまちづくりを促進するため、大沢町平野(旧平野町)地区のまちづくりを促進するための活動を続ける市民グループです。私たちは活動を始めた当初、市民が意見を表明したり

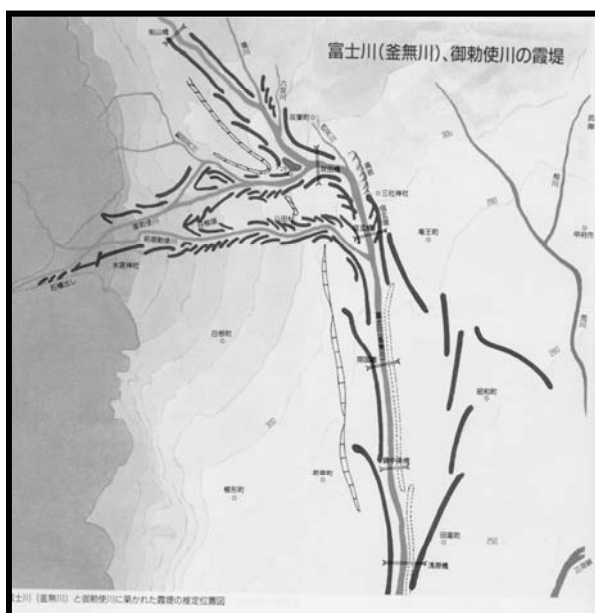
平野町くらし博物館



駄菓子屋・自転車屋博物館



信玄の霞堤



まとめの言葉に代えて

アテネの新市民の宣誓

「私たちはこの都市を、私たちが引き
継いだ時よりも、損なうことなく、より
偉大に、より良く、そしてより美しくし
て、次世代に残します」